

2008(平成20年)

1.1

広報

# はむら



今年はずみ年  
テレビはむらの年

テレビはむらは今年で15回目の新年を迎えることができました。

今年も身近な情報をお届けし、より親しまれる番組を放映していきますので、よろしくお願いいたします。

## CONTENTS

■新春対談 市長と語ろう 2008 .....	1
■シリーズ 第1回	
後期高齢者医療制度が始まります .....	5
■お知らせ .....	7
■1月のテレビはむら .....	19
■1月の相談日 .....	20
■健康ガイド .....	21
■子どものページ .....	22
■新春イベント .....	23

# 新春対談

## 市長と語ろう 2008

**あけましておめでとーうございませす**

新春を迎え、市民の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと、心からお慶び申しあげます。

1月1日号は、新春にふさわしいお二人をお迎えし、市長とともに今年の抱負を語っていただきました。



富山 茜さん 羽村市長 並木 心 森田 恒陽さん

この対談の様子は、1月1日(火)から9日(水)までのテレビはむらでご覧いただけます。  
※画像の一部は、テレビはむらの映像を使用しています。



**司会** 今回は、これからの社会を担うお二人をお招きし、並木市長とともに今年1年の抱負を伺っていきます。

まずはじめに、市長から市民の皆様にも年頭に当たってのあいさつを申し上げます。

**今年**は長期総合計画後期基本計画2か年目の重要な年

**市長** 新年あけましておめでとーうございませす。

昨年は、市政の運営にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

今年、第四次羽村市長長期総合計画後期基本計画の2か年目にあたり、昨年少くターゲットを切った後期基本計画

を堅調な基調に乗せ、基本構想に掲げる市の将来像を具現化していくためにも極めて重要な年であると考えています。

特に重点的に取り組んでいかなければならない施策として、羽村市の最重要課題であります羽村駅西口土地区画整理事業では、今年の早い時期に仮換地案をお示しいたしますので、市民の皆様のご協力をいただきながら、次のステップへ着実に推進してまいります。

羽加美地区と栄町地区を結ぶ、都市計画道路3・4・16号線立体交差事業については、事業最終年度となりますので、確実に実施してまいります。

また、この立体交差事業の完成により、市役所通りと新奥多摩街道がスムーズに結ばれ、市のメインストリートであります市役所通りを中心としたにぎわいのあるまちづくりが進んでいくものと確信しております。

昨今の地域社会の変容が、さまざまな社会課題を生み出している今、地方自治に求められていることは、「地域」の復権、復活であります。この

「地域」を支援していく具体的な取り組みについて、市を上げての体系化・計画化を図り、「地域力・市民力」の育成と支援を行っていくとともに、市民の皆様のご自主・自立の「地域力」の創造へとつなげていきます。

その他、先駆的子育て支援センターの設置、子育てサポートの育成などによる子育て支援の充実、障害者の自立と社会参加の実現のための就労支援事業、高齢者に対する介護予防事業、特別支援教育の推進、学校図書館巡回司書の充実などによる学校教育の推進などを図ってまいります。

いずれにいたしましても、今年が羽村市にとって良い年になるよう、全力を傾けてまいります。

市民の皆様におかれましては、将来の輝かしい羽村市を創造していくために、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

**司会** それでは、お二人を紹介いたします。

森田恒陽さんは、現在カナダのフリースタイルカヤックという競技で世界を舞台に活躍されています。

富山茜さんは、東京学芸大学教育学部の2年生で、中学校の先生を目指していらっしゃいます。

それでは皆さんよろしくお願いたします。

## フリースタイルカヤックの世界チャンピオン

**司会** 森田さんは、フリースタイルカヤックでは日本の第一人者として活躍され、ワールドカップでも優勝し、世界チャンピオンにもなっています。



もりた こうよう

**森田 恒陽さん**

羽加美在住

高校を卒業してから始めたフリースタイルカヤックで、2006年には、ワールドカップで優勝。日本では第一人者として、世界を舞台に活躍中。

「フリースタイルカヤックからいろいろな楽しさをもたらしています」

このフリースタイルカヤックというのはどのような競技なのでしょう？

**森田** フリースタイルカヤックというのは全長2mくらいの短いボートを操って、宙返りをしたり、側転をしたりしてアクロバティックな技を競う競技です。

**市長** 森田さんがカヤックを始められたのは、羽村の自然が少なからず影響したんでしょうね。

**森田** はい、自然の中で遊ぶのは子どもの頃から好きでした。多摩川に行っては泳いだり石を投げたりして遊んでいました。

フリースタイルカヤックは、父がカヤックをやっていました

ので、誘われたのがきっかけです。本格的に始めたのは高校を卒業してからのので約7年半前です。

**市長** 始めてから、まだ10年もたっていないんですね。

**森田** はい。ただ、フリースタイルカヤックという競技自体がとても新しい競技なので、ボートや技も日進月歩で進化しています。例えば、ボートの形も10年前には3m近くもあるものが普通だったのが、今では女性用に1.6mほどしかないタイプも出ています。

そういう意味では競技の進化の中でちょうどよい時期に始められたと思っています。

**市長** フリースタイルカヤックは、タイムレースではなく、技を競うスポーツなんですね。

**森田** はい。体操やスキーマーグルのように、一定の時間内に技を繰り出して、採点する競技です。

**市長** 宙返りをしたり、回転したりするためのコツはなんですか。

**森田** 自分のフォームに加えて、川の流れやボートの浮力、地球の重力のタイミングをうまく利用することで、ボートと自分が思ったとおりになりやすくなります。



御岳溪谷で練習する森田さん

**森田** そうですね。自分にとってはカヤックを始めたタイミングも、競技の進化の途中だったことが良かったと思っています。

## フリースタイルカヤックをもっと知ってほしい

**市長** 森田さんにとって、フリースタイルカヤックとは、どのような位置付けになりますか。

**森田** 新しく考えたボートの動きを形にしたり、誰もが簡単に技を覚えられるようにしたり、特に静水の世界で私がフリースタイルカヤックの新しい世界を作れると思っています。今はまだ途中ですが、実現したいです。

そのフリースタイルカヤックから私も色々な楽しさをもたらしています。フリースタイルカヤックのレベルアップを実現すれば、多くの人に今以上に身近で魅力のあるスポーツとして参加してもらえと思っています。

※フリースタイルカヤック競技には、流れのない場所で行う静水部門と流れのある場所で行う流水部門がある。



とみやま あかね  
富山 茜さん

羽加美在住  
東京学芸大学教育学部2年生  
中学校の教師を目指して勉強中。  
成人式では、新成人代表として  
「誓いの言葉」を述べられます。

「自分のすることに、責任を  
持って歩んでいきたい。」

## 成人式で新成人代表として 「誓いの言葉」を

**司会** 富山さんは、今年成人式を迎えられますが、気持ちの上で何か変化はありますか。

**富山** 大人や二十歳に早くになりたいとずっと思っていますが、実際になった今もまだその実感があまりありません。しかし、年金や選挙のお知らせが届いた時など、「二十歳になったんだ」と思える時がだんだん増えてきました。

**司会** 成人式では、羽村市の新成人663人を代表して「誓いの言葉」を述べられるということですが、今のお気持ちはいかがですか。

**富山** 大勢の前で話す経験は

なかなか得られるものではないと思いますので光栄に思います。しかし、慣れていないことなのでとても緊張しています。

**市長** 今お話になっているように、自然体でのぞまれば大丈夫だと思います。

学校の先生というの、人前で話すのが仕事ですから、今回はいい経験になりますね。  
**富山** はい、自然体でがんばりたいと思います。

**司会** 富山さんが、中学校の先生を目指そうと思ったきっかけは何だったんですか。

**富山** 父が教師でしたので、教師という仕事は、とても身近に感じていました。

そして、これまでに出会った多くの尊敬できる先生方の

ようになりたいと思ったのがきっかけです。

**市長** 思い出に残っている先生はいらっしゃいますか。

**富山** 勉強面以外での悩みや相談を聞いてくださった先生のこと、思い出に残っています。

部活動の顧問の先生には、バスケットボールの楽しさや厳しき、目標に向かって一生懸命になること、仲間の大切

さなど、普段の生活ではなかなか得られないものを教えていただきました。

**市長** これから努力をして、その先生に追いつき、そして追いついていく事が恩返しになるんでしょうね。

**富山** はい、そうなれるよう頑張ります。

**審判はバスケットボールを観るための特等席**

**市長** バスケットボールは今でも続けているんですか。

**富山** 高校生の頃からバスケットボールの審判の勉強を始め、今は、主に都内で活動しています。

**市長** プレイではなく、審判というものに惹かれた理由は何だったんですか。

**富山** 単純に「カッコいい」と思ったからです。そして、実際にやってみるととても楽しくて、勉強してよりレベルの高い舞台でやってみたく思うようになりました。

審判は、バスケットボールを観るには特等席だと思っています。ベンチや観客席からでは観たり感じたりすることができないものを近くで体感できるからです。

**司会** 今度は、お二人から市長に何か聞いてみたいことがありますか。

**子どもの事件を未然に防ぐための対策は**

**富山** 最近、子どもが起こす事件が目立っていますが、それらを未然に防ぐ対策として何かお考えがあればぜひお聞きしたいです。

**市長** 青少年が起こす犯罪が、低年齢化、そして凶悪化していることは、社会でも大きな問題となっています。

羽村市では、昭和58年に「青少年健全育成の町」を宣言し、これまでもいろいろな事業を実施してまいりましたが、それだけでは青少年を健やかに育てていく事はできません。

羽村市では、町内会・自治会をはじめ、青少年対策地区委員会やPTAなどと市が協働して取り組んでいます。つまり地域が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいるわけです。

そしてそれが、住み良いまちづくりにもつながっているのだと考えています。

